

水性蓄光塗料(WSR-30)用 標準塗装仕様書

素材	工程				
	下塗り	中塗り	蓄光塗料	トップコート	
木材 金属 (鉄・非鉄)		一液水性エポキシ系 プライマー(白) (サビ止めを兼ねる)	なし	WSR-30	水性クリヤー塗料 (必要に応じて)
	塗装回数	1~2回	—	3回前後	1回
	塗装間隔	4時間以上(20℃)	—	4時間以上	最終養生 24時間以上
	希釈割合	(清水) 0~5%	—	(清水) 0~10%	(清水) 0~30%
	標準塗布量	約100~150 g/m ² /回	—	約150 g/m ² /回	約60~80 g/m ²
備考	サビ止めと中塗りの白を兼ねた塗料です。下地色の隠ぺい性が悪い場合は、必要に応じて2回程度塗装してください。	(旧塗膜があり下塗りをしない場合は、中塗りの白塗料を塗布してください。)		より上質な表面仕上げを希望される場合は、トップコートを2回塗布してください。(塗装間隔は4時間以上)	
コンクリート モルタル スレート		一液水性エポキシ系 シーラー(透明)	水性エナメル 塗料(白)	WSR-30	水性クリヤー塗料 (必要に応じて)
	塗装回数	1回	1~2回	3回前後	1回
	塗装間隔	2時間以上(20℃)	2時間以上(20℃)	4時間以上	最終養生 24時間以上
	希釈割合	無希釈	(清水) 5~15%	(清水) 0~10%	(清水) 0~30%
	標準塗布量	約150 g/m ²	約80~100 g/m ² /回	約150 g/m ² /回	約60~80 g/m ²
備考		下地色の隠ぺい性が悪い場合は、必要に応じて2回程度塗装してください。		より上質な表面仕上げを希望される場合は、トップコートを2回塗布してください。(塗装間隔は4時間以上)	

共通事項

- ・下塗りの前には素地調整を行ってください。(ゴミ・汚れ・サビ・油分の除去、及び付着物に応じて、スクレーパー・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで表面を調整してください。)
- ・塗料を塗り重ねる場合、必要に応じてサンドペーパー#240~320)で表面を研磨してください。
- ・上記の仕様は、ハケ塗り又はローラー使用時の条件です。スプレー吹きで塗装する場合は、スプレーガンの仕様に応じて適宜粘度調整を行ってください。
- ・すべての塗装工程終了後は、最終養生として24時間以上確保してください。塗り重ね回数が多くなり塗膜が厚くなると必要以上に乾燥に時間がかかることがあります。
- ・上記の塗装工程は新設の場合の手順です。既設及び旧塗膜がある場合は下塗りのプライマー、シーラーは不要です。既存塗膜の表面状態に応じて研磨、洗浄などの素地調整を施し、中塗り以降から塗装を行ってください。
- ・蓄光塗料に付随する下塗りなどの塗料は専用品をご用意しておりますが、一般に入手可能な汎用塗料でもご利用いただけます。蓄光塗料を塗布する素材、塗装面の状態及び使用環境に応じてご相談ください。